

第7章 計画推進のために

基本施策

- 1 市民の力を高める
- 2 地域の力を高める
- 3 行政の力を高める

課題

- 防災・福祉・環境などの分野において、今後も、更に市民、団体、事業者などが連携した「協働」の取組みを推進することが必要です。
- ボランティアやNPOなどの市民活動が活発に行われるまちづくりが求められています。
- 自治会をはじめ地域コミュニティの中で世代を越えて、互いに助け合って暮らしていけるまちづくりが必要となっています。
- 歳出の見直しと削減、積極的な歳入確保により、健全な財政運営を維持していくことが必要です。
- 公共施設が市民にとって、安全で使いやすく、有効に活用されていることが必要です。
- 職員の意識改革や市役所の制度や体制を見直し、市民サービスを向上させることが求められています。

第7章

計画推進のために

5年間に力を入れて取り組むこと

重点事業

42

新たな人材バンク制度を構築します

専門的な技術や経験を持つ定年退職者など地域の人材を掘り起こし、まちづくりに有効活用を図るため、新たな人材バンク制度について検討し、構築します。

重点事業

43

まちづくりを担う若い人材を育成します

次代のまちづくりを担う人材を育成するため、高校生を対象としたヤング草莽（そうもう）塾※の開催など市内の高校・専門学校・大学と連携した取組みを進めます。

重点事業

44

地区の活動拠点となる施設を整備します （福田・竜洋・豊田・豊岡地区）

市民力・地域力の向上を図るため、地区自治会などの活動拠点となる施設を整備します。

重点事業

45

公共施設の見直しを進めます

市民に使いやすい施設となるよう、市が保有する公共施設について計画的に見直しを行い、施設の有効活用・再配置・整備を進めます。

重点事業

46

内部事務システムの再構築を進めます

内部事務システムを再構築し、管理費用の削減や事務処理時間の短縮などにより、市民サービスの向上を進めます。

重点事業

47

遊休地の売却を進めます

利用計画のない遊休市有地については、新たな財源確保策として売却を進め、定住人口の増加につなげていきます。

重点事業

48

行財政改革を進めます

限られた予算の中で、最大の効果を上げるよう、事業仕分け※による事業の見直しを進めるとともに、指定管理者制度※や民営化※、外部委託※など民間活力の導入を推進し、計画的に職員数の適正化を進めます。

また、財政基盤の強化を図るため、市税などの歳入確保の強化や有料広告事業などによる新たな財源確保に取り組みます。

第7章

計画推進のために

基本施策

第7章 基本施策1 市民の力を高める

施策と主な取組み

協働の仕組みづくりを推進します

1

協働のまちづくりを推進するため、市民、団体、事業者、市などが連携して実施する「協働のまちづくり提案事業」を見直し、その取組みをさらに推進するとともに、各種ボランティアに関する情報を提供することで、市民が主体的に活躍できる機会の拡大を推進します。

広聴機能の充実を図ります

2

市政に市民の声を反映させるため、市政懇談会をはじめ移動市長室^{*}や市政モニター制度^{*}の実施、パブリックコメント制度などの取組みを推進します。

まちづくりを担う人材の育成を進めます

3

市民主体のまちづくり活動を推進するため、まちづくりに主体的に関わることでできる人材の発掘とその人材を活用する、新たな人材バンク制度の構築を進めます。
また、まちづくりを担う人材を育成するため、高校生を対象としたヤング草莽（そうもう）塾^{*}の開催など市内の高校・専門学校・大学と連携した取組みを進めます。

分かりやすい情報提供を進めます

4

市民の市政への参加を促進するため、広報いわたやホームページをはじめ、さまざまな情報媒体を活用し、市民に分かりやすい情報の提供を推進します。

協働の考え方

自らが、まちの課題の把握やまちづくりに積極的に関わります。

市民

市民の地域や市政への関心を喚起し、参加しやすい環境をつくれます。

団体・事業者

積極的に情報を発信し、市民や団体などの市政への参画機会をつくれます。

行政

第7章 基本施策2 地域の力を高める

施策と主な取組み

地域コミュニティの強化を図ります

- 1 地域の課題を地域で解決する力を高めるため、自治会連合会と連携・協力して、自治会活動を支援するとともに、市から自治会に依頼している業務の見直しを行います。

市民活動団体の育成を推進します

- 2 NPO※などの市民活動団体の育成を進めるため、交流事業の実施など、磐田市市民活動センター※を拠点とした情報発信やイベントの開催、ネットワークづくりへの支援を行います。

コミュニティ拠点などの整備を進めます

- 3 地域コミュニティ活動の活性化を支援するため、活動拠点となる施設の整備を進めるとともに、自治会が行う公会堂などの施設整備・耐震化に対して支援します。

協働の考え方

地域の課題解決に主体的に取組み、地域コミュニティの活性化に努めます。

市民

市民・行政と連携し、地域貢献に努めます。

団体・事業者

市民活動団体や自治会などの活動を支援します。

行政

第7章 基本施策3 行政の力を高める

施策と主な取組み

行政運営を効率化し、効果的に推進します

- 1 より効率的で効果的な行政運営を進めるため、事業仕分け*などによる事業の見直しや公共施設の見直しを進めるとともに、指定管理者制度*や民営化*、外部委託*など民間活力の導入を推進します。
また、事務処理の効率化と経費の節減を図るため、内部事務システムの再構築を進めます。

人材育成を進め、組織力を強化します

- 2 時代の変化に則した行政運営を推進していくため、新たな人材育成基本方針に基づき、職員の育成と意識改革を促すとともに、組織機構の見直しにより、スリムで柔軟かつ機動性のある組織体制を確立します。

持続可能な財政基盤を確立します

- 3 将来にわたり安定的な行政サービスを提供できる財政基盤を確立するため、収納対策の強化や遊休地*の売却など新たな財源の確保を推進します。

広域行政*を推進します

- 4 市民の利便性を高めるとともに効率的かつ効果的な行政サービスの提供を図るため、中遠広域事務組合*で行うごみ処理や静岡地方税滞納整理機構*で行う税の滞納処分事務、静岡県後期高齢者医療広域連合*で行う後期高齢者医療に関する事務などを継続しつつ、さまざまな分野における広域的な課題処理について研究・検討を行っていきます。

協働の考え方

市の行政経営に関心を持ち、積極的に市政へ関わるよう努めます。

市民

市民と協働して地域の課題を解決できる地域づくりを進めます。

団体・事業者

限られた財源を有効かつ効率的に活用し、行政運営の効率化を図ります。

行政

第7章

計画推進のために

指標・目標値 一覧

基本施策1 市民の力を高める

指標名	策定時 (H19)	現状 (H22)	目標値 (H28)	指標の定義
市民と行政との協働事案件数	71件	70件	100件	市民(自治会やNPO*、事業者を含む)と行政が協働で取り組んだ事業の件数/年

基本施策2 地域の力を高める

指標名	策定時 (H19)	現状 (H22)	目標値 (H28)	指標の定義
市民活動センター*利用者数	3,773人	4,627人	5,000人	磐田市市民活動センターを利用した人数/年

基本施策3 行政の力を高める

指標名	策定時 (H19)	現状 (H22)	目標値 (H28)	指標の定義
経常収支比率	81.1%	85.0%	87%以下	義務的経費などの経常経費*に、市税や地方交付税などの経常一般財源*がどの程度充当されているかの指数
職員数	1,201人	1,105人	1,000人	病院・消防を除く一般部門職員数



空から見た磐田市

地域コミュニティの強化



福田コミュニティセンター



竜洋コミュニティセンター



豊田コミュニティセンター